



2021年2月5日

各 位

会社名 株式会社 デ サ ント  
 代表者名 代表取締役社長 小 関 秀 一  
 (コード番号：8114 東証第一部 )  
 問合せ先 取締役 常務執行役員 土 橋 晃  
 (TEL：03-5979-6111 )

### 通期業績予想の修正および特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、2020年7月15日に公表した2021年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正することおよび、特別利益の計上についてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想について

2021年3月期通期連結業績予想値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2020年7月15日時点)	101,000	500	550	5,000	66.29
今回発表予想(B) (2021年2月5日時点)	96,000	△2,000	△1,200	5,000	66.27
増 減 額(B-A)	△5,000	△2,500	△1,750	—	
増 減 率(%)	△5.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	124,561	379	456	△2,481	△32.90

#### ●連結業績予想修正の理由

売上高につきましては、主に韓国の2020年度下期において、新型コロナウイルス感染の再拡大による売上低迷が継続することで、前回発表予想を下回る見通しとなりました。国内においても、2020年7月以降、回復基調であったものの、12月以降は新型コロナウイルス感染の再拡大により、回復が遅れる見通しとなりました。営業利益につきましては、第3四半期連結会計期間において日本国内向け事業を展開しているデザートジャパン株式会社と中国事業が黒字となりましたが、通期では売上減少に伴う大幅な売上総利益の減少を、販管費の削減でカバーするには至らず、前回発表予想を下回る見通しです。経常利益につきましては、中国における合弁会社であるDescente China Holding Limited(以下「DCH」)の業績が好調な事から持分法による投資利益が想定を上回る見込みとなったものの、営業利益の減少額をカバーするには至らず、前回発表予想を下回る見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の要因に加え第4四半期連結会計期間に希望退職に関わる費用計上を見込んでいるものの、後述の「2. 特別利益の計上について」に記載の通り、持分変動利益6,419百万円が当初の想定を上回った事から、前回発表予想を据え置くことといたしました。

(注)上記予想は、現時点で得られた情報に基づいて算出しております。したがって実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 特別利益の計上について

当社は、2020年7月15日に開示しました「中国における合弁会社の再編に係る契約締結及びそれに伴う特別利益計上に関するお知らせ」に記載のとおり、中国における合弁会社であるDCHへ現物出資すること等によりDCHに対する持株比率を引き上げる再編を行いました。

これに伴い、計上する持分変動利益の想定を約4,000百万円と開示しておりましたが、2021年3月期第3四半期連結会計期間において、その算定根拠であるDCHの事業計画が当初想定を大幅に上回ったことから6,419百万円を特別利益として計上いたします。

以 上